

ニカラグア経済（２０１１年９月・１０月）

２０１１年１１月
在ニカラグア日本国大使館

１． ９月の動向

- （１）９月５日、No Pago（北部生産者・商業者による「不払い運動」）のメンバーは、債務返済に関する再交渉を受け入れることを明らかにした。
- （２）９月８日、世界経済フォーラムが発表した「２０１１国際競争力ランキング」によると、ニカラグアは１１４位（昨年は１１２位）であった。
- （３）９月９日までの１１日間、ＩＭＦミッションは、拡大信用供与ファシリティに係る最終レビューに関する協議のため、マナグアを訪問した。
- （４）９月１２日、中米統合銀行は、世界的経済危機の際に、流動性を維持するため、中銀に対し、２億ドルの融資限度額の契約更新を承認した旨発表した。
- （５）９月１４日、政府は、米国から１、１５０トンの鶏肉の輸入を許可する大統領令を発布した。
- （６）９月２０日、民間企業最高審議会（ＣＯＳＥＰ）は、ニカラグア企業家式典を開催した。
- （７）９月２５日、ＩＭＦは、拡大信用供与ファシリティに係る最終レビューに関し、ニカラグア政府が、社会保険庁及び信用協同組合の財政状況の公表に関する公約を満たしていないことを指摘した。
- （８）９月２７日、中銀は、２０１１年７月現在、フリーゾーンの従業員数は、過去最高の９万人となったことを発表した。
- （９）９月３０日、通商産業振興省は、２０１１年上半期の外国直接投資は、前年同期比で３２％増の２億８，４００万ドルであったと発表した。

２． １０月の動向

- （１）１０月１日、国連食糧農業機関（ＦＡＯ）は、２０１０年８月～２０１１年８月の間に国内の食糧価格が２６％上昇したと発表した。
- （２）１０月３日、中銀は、６月時点での銀行に対する借入返済遅延率が、前年同月比で０．４％減の２．９％であると発表した。
- （３）１０月６日、ＩＭＦは、２０１１年のニカラグアの経済成長率は約４％であり、ＧＤＰは６８億１，３００万ドルとなると予測される旨発表した。
- （４）１０月１３日、国家歳入局（ＤＧＩ）は、２０１１年の８月までの税収は前年同期比で２８．４％増であり、２０１１年の税収総額は、４０億５，３００万コルドバとなる見込みであることを明らかにした。増収の大半は、国内債務の削減に回されることになる。
- （５）１０月１５日、２０１２年国家予算案が国会に提出された。予算案の総額は前年比で１４．４％増の１８億６，９７０万米ドルとなっている。
- （６）１０月１６日、国連食糧農業機関（ＦＡＯ）及び国連世界食糧計画（ＷＦＰ）は、ニカラグアの人口の１９％、つまり１００万人は極貧で、教育を受けていないと発表した。
- （７）１０月１９日、中央銀行は２０１１年上半期における経済協力白書を公表し、２０１１年上半期の海外からの経済協力額が、５億８，５００万ドル（前年同期比９．６％減）

であったことを明らかにした。

(8) 10月21日、「Doing Business」のランキングによれば、ニカラグアのビジネス環境魅力度は183カ国中118位であった。

(9) 10月21日、IMF理事会は、IMF拡大信用供与ファシリティに係る最終(第7次)レビューを承認した。右承認により、2007年に開始した同ファシリティは終了した。

(10) 10月22日、中銀と民間銀行監督庁(SIBOIF)は、新たな世界的金融危機が起こった際に、これに対処できるようにするため、国の金融システムの機能をより強化していく方針であることを明らかにした。

(11) 10月24日及び25日、マナグアにて、第7回ペトロカリブ閣僚委員会が開催された。ニカラグアからは、オルテガ大統領夫妻(閉会式のみ参加)、ラパチオリ・エネルギー鉱山大臣等が、また、ベネズエラのラミレス・エネルギー石油大臣、キューバのアウストリエ基礎産業副大臣、ドミニカ共和国のブルケ財務大臣等が出席し、ペトロカリブ協定に関する評価等が行われた。

(12) 10月29日、オルテガ大統領は、熱帯性低気圧による大雨被害の緊急対策費用として、3億5,860万コルドバを準備する旨発表した。

(13) 10月30日、ニカラグア輸出手続きセンターは、2011年のニカラグアの輸出が10月30日現在、前年同期比で23.35%増の19億4,300万ドルとなったことを発表した。2011年のニカラグアの輸出は、年内に20億ドルを上回る可能性がある。